

みんな考えてまい!

# 蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー

「まちづくり」にみんなが参加するともっといいまちになるんだよね。



ほうじゃ。まちづくりの計画をつくる時や事業をやる時なんかみんなが参加していくことが重要なんじゃない。市は情報を公開し、みんなが参加できる場を設けて

いくで、みんなで話し合っって計画を作るんじゃないよ。やる気が高まって、計画を実行してくれる人が増えてくれると



もつといいんじゃないかな。それが「協働のまちづくり」なんだよね。今までは、市もみんなの意見を十分に聞かんで計

画をつくったりしてきたし、みんなも市に任せっきりだったと思うんじゃない。ほうだから。これからは、ほいじゃ進んでいかん。みんながせなあかんこと、みんなと市が一緒にやること、市がやらんとあかんことを分けて考えていかんとあかんじゃ。これを協働のまちづくりというんじゃない。



昔は、できることは自分でやってたんだよね! ほうじゃよ。自分たちの地域のことは、自分たち

で解決してきたんじゃない。お互いが安気に暮らしていけるような仕組みがあつたんじゃないが、みんなの生活も考え方もずいぶん変わってしまったからのう。ほいだから、市任せじゃなく、「自分たちのまちは自分たちで考え、自分たちでつくっていく」つちゅう思いを持つてもらい、市とおんなじ立場でやってくことが大事なんじゃない。みんなでもいいまちをつくってこ

ま。計画開発課 ☎66・1142



学芸員 小林龍二

「浦島太郎のカメはどんなカメ?」

今回はまず、皆さんに質問をします。

Q 昔話「浦島太郎」に登場するカメの種類と性別は?

水族館でカメラたちやその説明書きをじっくりご覧になったことがある方ならわかるか

もしれませんが、さて、皆さんおわかりでしょうか?

答えから言いますと「メスのアカウミガメ」なのです。

日本に生息している数あるカメのなかで、なぜ「アカウミガメ」で、しかも「メス」なのかをご説明します。まず、浦

島太郎は「海」でカメを救って

いることから、当然「ウミガメ」であることがわかります。ウミガメは普段は水中で生活して、陸上に上がることはほとんどなく、砂浜で見られるカメは産卵のため上陸したメスのみです。しかも、ウミガメのなかでも浦島太郎の話の舞台である「日本の砂浜」で産卵するということになるので、アカウミガメと特定できるのです。

この質問をくれたのは東京のある有名な水族館の方なの

ですが、図鑑などに載っている知識だけではわからないような、カメのことが「見えてくる」気がしますよね。

水族館をうまく使いこなせば、タイやヒラメが舞い踊る竜宮城は海のどの辺りで、どんな環境だったのかを想像できるようなれます。

先ほどの質問がわからなかった方、ぜひ、明日にでもカメラを見に水族館に遊びに来て下さいね。